

令和2年度 政策評価表

		作成日	令和2年8月24日
リーディングプロジェクト	子どもが大切にされるまちづくり	ゼネラルマネージャー	こども未来部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	こども未来部長、福祉部長、健康推進部長、建設部長、教育総務部長、学校教育部長		
幹事会メンバー	こども未来部次長、こども支援担当参事、こども政策課長、こども福祉課長、青少年課長、保育幼稚園課長、生活福祉担当参事、健康づくり支援課長、公園課長、河川課長、教育総務課長、社会教育課長、教育施設担当参事、学校教育部次長、教育センター担当参事		

【リーディングプロジェクトの方向性】

<p>次代を担う子どもたちが、たくましく健やかに育っていくためには、子育ての一義的な責任を有する保護者が、安心して子育てができるような地域の絆の形成や、子育てに生きがいを持てるような環境整備が必要です。</p> <p>学校では先生と子どもがじっくり向き合うため、先生が子どもと過ごす時間を大切にできる環境も必要です。</p> <p>所沢の豊かな自然を生かした子育て環境の中で、家庭、地域、学校、市がともに関わりあい、それぞれの役割を担いながら、すべての子どもたちの幸せを第一に、まちぐるみで子どもたちの成長を見守るまちづくりを進めます。</p>
--

【令和元年度に実施した事業】

《「主な取り組み」にあたる事業》

2-1-1 子どもの育成支援の充実（こども支援センターでの活動）	
こども支援センター運営事業（子育て支援）	こども支援課
2-1-2 子育て家庭への支援の充実（子育て等に関する相談）	
児童家庭相談事業	こども支援課
ところっこ子育てサポート事業	こども支援課
2-1-3 地域における子育て支援の充実（地域のつながりによる子育て支援の環境づくり）	
ファミリーサポート事業	こども支援課
子ども広場設置・整備費補助金	青少年課
2-4-1 家庭・地域・学校みんなで青少年健全育成（家庭、地域、学校の連携）	
青少年健全育成広報・啓発活動事業	青少年課
2-5-1 確かな学力と自立する力の育成 （学校・家庭・地域が連携した学力向上への取り組みの充実、学校への人的配置の充実）	
「学び創造アクティブプラン」学力向上推進事業	学校教育課
学力向上支援講師配置事業	学校教育課
教育課題に対応した学力向上推進事業	教育センター

2-5-2 豊かな心の育成 (子どもたちの悩みや諸問題への対応、自然体験・地域との関わりの充実)	
スクールカウンセラー学校派遣事業	学校教育課
健やか輝き支援事業	学校教育課
教育相談事業	教育センター

《「関連する取り組み」にあたる事業》

1-5-3 家庭・地域の教育力の向上 (家庭教育学級や子育て講座等学びの機会の提供、PTA活動等の支援)	
家庭教育推進事業	社会教育課
社会教育関係団体補助事業	社会教育課
4-2-3 みどりと水の保全 (みどりの保全、河川や湿地の保全)	
所沢カルチャーパーク築造事業	公園課
ふるさとの川再生事業	河川課

【評価及び今後の方針】

令和元年度の取り組みに対する評価

●安心して子育てできる環境づくり

「子育て世代包括支援センター かるがも」やところっこ子育てサポート事業において、助産師や保育士等による相談を実施し、関係機関と連携しながら妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援を行った。こども支援センターでは、発達支援エリアと子育て支援エリアが連携して子どもや家庭の特性に配慮し、専門的な相談や子育て支援を行った。また、地域の保育園や児童館における子育て中の親子が気軽に集い交流や相談できる環境の提供や、家庭教育学級の活動支援を通じて、社会全体で子どもたちを育てる環境づくりを進めた。待機児童の解消については、既存施設の活用により定員を拡大したことで量の確保が図れた。

●健やかな成長のための子ども支援

未就学児の保育ニーズへの対応について、民間保育園の保育士等へ市単独補助金を交付して離職防止を図るとともに、民間保育園を含めた保育士等の資質向上のための研修を行ったことで、保育の質を確保することができた。小学生については、就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生に、授業の終了後や夏休み等に遊びや生活の場を提供することで、健全育成が図れた。

●先生と生徒のための学校環境づくり

教育相談事業を充実させ、新学習指導要領の全面実施に向けて学校の教育力向上を図るとともに、児童生徒の学力向上のため、教員免許状を持つ講師を小中学校に12人配置し、小中学校5校に電子黒板を15台導入した。また、市内すべての小中学校の普通教室等に空調設備を整備したことで、学校環境の向上が図れた。

●豊かな自然を生かした子育て環境づくり

所沢カルチャーパークの用地取得(2筆・5,937㎡)や防火水槽設置工事、外周道路整備工事を行い、自然の中でより安全に子育てができる環境を整備した。また、河川の整備や市民との協働による活動を進め河川や湿地の保全に取り組んだことにより、子育てに適した場の創出に寄与することができた。

●すべての子どもの成長を見守るまちづくり

子どもや家庭にあわせた相談支援を行ったことで、子どもの権利を擁護して福祉の充実が図れた。生活に困窮している家庭に対しては、所沢市社会福祉協議会と連携し包括的な相談支援を行った。また、地域全体で青少年の健やかな成長を支えるため、多様な市民が市民の視点でまとめた「三つ葉の提言」の普及啓発を図った。さらに、すべての子どもや子育て家庭を地域全体で温かく見守り、「子どもが大切にされるまち」の実現のため「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

【総評】

各事業についてはおおむね順調な進捗であり、子どもたちが健やかに育ち、様々な力を育める環境づくりや、どのような家庭環境にあっても、地域社会の絆により支援できる環境づくりが進んでいる。「子どもが大切にされるまち」の実現に向け、関係機関と密な連携をとり、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援をはじめとした各相談体制をさらに充実させ、ハード面およびソフト面での環境整備を進める必要がある。

今後の方針

●安心して子育てできる環境づくり

妊娠期から子育て期にわたり、保健師等が相談に応じ、関係機関と連携を図りながら継続的な支援に努める。また、「子育て世代包括支援センター かるがも」では第2土曜日の午後に妊娠届の受付を始め、相談しやすい体制の充実を図る。子育て支援の充実については、こども支援センターにおいて、発達支援も含めた親子が気軽に交流や相談できる体制を推進する。また、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染対策を徹底するとともに、さらなる感染予防に努める。さらに、家庭教育学級においても感染防止を図りながら活動支援に努めるとともに、家庭教育を支援する新しい事業手法を試みる。なお、待機児童の状況等を踏まえ、計画的に保育の量の拡大を図る。

●健やかな成長のための子ども支援

未就学児の保育ニーズへの対応について、保育園では、保育士等の確保及び離職防止に努め、子どもの保育環境の向上を図る。また、就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生の健全育成を図る。

●先生と生徒のための学校環境づくり

経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。引き続き、関係各課と連携しながら教育相談事業を充実させ、学力向上支援講師を配置して教員の教材研究等の時間を確保することにより、児童生徒の学力向上を図り、教員が児童生徒一人一人と向き合う時間を確保する。なお、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染対策を徹底するとともに、さらなる感染予防の環境づくりに努める。また、一人1台のタブレット端末や校内 LAN の整備を進め、児童生徒の情報活用能力を育み創造性を伸ばす。さらに、老朽化した学校トイレの改修などを進め、学校環境の整備に努める。

●豊かな自然を生かした子育て環境づくり

公園用地の確保を進め、河川の整備や市民との協働を推進することにより、豊かな自然環境の保全を図りながら、子育てに適した場を創出する。

●すべての子どもの成長を見守るまちづくり

子どもや家庭にあわせた相談支援を行うことで、子どもの権利を擁護する。また、生活に困窮している家庭に対しては、関係機関と連携することで早期発見や早期支援に取り組む。さらに、家庭・地域・学校・市が関わりあい、まちぐるみで子どもの成長を見守る地域社会全体の機運を醸成する。すべての子育て家庭へ分け隔てなく支援が届くよう、各種事業の定期的な評価・見直しを行う。

【SDGsへの貢献】

- | | | | |
|---|--------------------|----|-------------------|
| 1 | 貧困をなくそう | 10 | 人や国の不平等をなくそう |
| 2 | 飢餓をゼロに | 11 | 住み続けられるまちづくりを |
| 3 | すべての人に健康と福祉を | 12 | つくる責任 つかう責任 |
| 4 | 質の高い教育をみんなに | 13 | 気候変動に具体的な対策を |
| 5 | ジェンダー平等を実現しよう | 14 | 海の豊かさを守ろう |
| 6 | 安全な水とトイレを世界中に | 15 | 陸の豊かさを守ろう |
| 7 | エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 16 | 平和と公平をすべての人に |
| 8 | 働きがいも経済成長も | 17 | パートナーシップで目標を達成しよう |
| 9 | 産業と技術革新の基盤を作ろう | | |